

都市再生整備計画 事後評価シート  
仙台都心地区

平成23年3月

宮城県仙台市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	仙台市		地区名	仙台都心地区			面積	297ha			
交付期間	平成17年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	8,819百万円	国費率	0.40					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園、高次都市施設、土地区画整理事業										
		提案事業	地域創造支援事業(元鍛冶丁公園)、まちづくり活動推進事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	地域創造支援事業(肴町公園)				整備内容及び整備時期の変更に伴う削除			影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路、地域生活基盤施設(自転車駐車場)				道路:アクセシビリティ・回遊性の向上を図るため追加 自転車駐車場:魅力ある都心空間の確保を図るため追加			自転車駐車場:指標に放置自転車等台数を追加			
		提案事業	地域創造支援事業(五橋公園、道路植栽改植事業、市街地再開発推進事業、放置自転車対策事業)				魅力ある都心空間の確保を図るため追加			放置自転車対策:指標に放置自転車等台数を追加			
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-		-		-							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	商業業務延床面積	㎡	2,811,497	H16	2,900,000	H22	2,859,939	2,946,433	○	あり	集中的な民間投資による大型建築物の竣工が続いたことが床面積増加の直接の要因であるが、基盤整備により都市環境の底上げがなされたことで、間接的に土地利用を促進し、床面積が増加した。	平成23年5月
											なし		
	指標2	都市公園内行為許可件数	件	79	H16	86	H22	70	75	×	あり	新規公園整備で事業中のものの件数は含まれていない。また、件数は目標値を下回ったが、近年は大規模で魅力あるイベントへの質の変化が見られ、魅力ある都心空間の整備という目標に対しては、一定の効果を得られた。	平成23年5月
											なし		
	指標3	都心居住人口	人	16,811	H16	17,500	H22	20,344	20,807	○	あり	土地区画整理事業や市街地再開発事業の進捗に伴う集中的な民間投資により、地区内の住宅供給が活性化したこと、道路・公園など居住環境が整ったことにより、夜間人口が増加し、都心居住が促進された。	平成23年5月
											なし		
	指標4	東西方向通行者数	人/日	平日/休日 38,033/40,538	H16	平日/休日 40,000/42,500	H22	平日/休日 44,088/56,024	平日/休日 50,014/70,230	○	あり	駅周辺の都市基盤整備により都心の賑わいや活力が向上したことに加え、仙台駅北部東西自由通路の整備により仙台駅東西の往来が増加し、仙台駅東西連絡の利便性及び駅を中心とする回遊性が向上した。	-
											なし		
	指標5	放置自転車等台数	台	4,800	H17	2,200	H22	2,257	1,903	○	あり	放置自転車対策事業や自転車駐車場の整備により、路上放置自転車が大幅に減少し、快適な歩行空間が確保された。	-
なし													
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	まちづくり組織の活動回数	回	0	H16			-	18			まちづくり推進事業や土地区画整理事業の整備により、まちづくり活動が活発となり、地域の活性化が図られた。	平成23年5月
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路事業においてバリアフリー化や機能改善を行ったことで、通行者の利便性や安全性が向上した。</li> <li>・整備中の(仮)仙台駅東6号公園においては、計画段階で地元住民との意見交換会を開催し、公園整備に住民の意見を取り入れた。また、整備説明とあわせて市政出前講座を行ったことにより、公園の利活用や維持管理に対する地元の理解が深まった。</li> <li>・公園事業においては、今年度開園した元鍛冶丁公園で、ワールドカップのパブリックビューイングを行い、約2,000人が来場した。地域内の錦町公園においては、10日間オクトーバーフェストが行われ、延べ59,500人がイベントを楽しんだ(参考:平成18年度のイベント開始時は、5日間で、27,750人)。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	指標の達成状況の確認	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		中間時において達成状況を確認することは、事業を適切に評価する上で効果的であるため、他の地区でもモニタリングを実施することが望ましい。				
			都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		交付期間中に1地区の地区整備計画が策定されており、引き続き、他の地区についても検討を進める。				
	住民参加プロセス	仙台駅東第二土地区画整理事業地内での地区計画に関する意見交換会の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		今後も、地域の活性化に貢献するようなまちづくり活動について支援する。				
都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

## 様式2-2 地区の概要

### 仙台都心地区(宮城県仙台市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
<b>【大目標】</b> 広域的、中枢的、そして高次な都市機能が集積、融合し、魅力あふれる都市空間と相俟って都市活力を高める都心の形成  <目標1> 多様な都市機能を発現する土地の高度利用を促進し、都心にふさわしい都市基盤整備を推進する <目標2> 交通基盤施設と関連都市基盤整備を推進する <目標3> 仙台駅西側と仙台駅東側の連続性を確保する <目標4> 魅力ある都心空間の確保と整備を推進する <目標5> 居住環境整備を行い都心居住を推進する	商業業務延床面積	単位: m <sup>2</sup>	2,811,497	H16	2,900,000	H22	2,946,433	H22	
	都市公園内行為許可件数	単位: 件	79	H16	86	H22	75	H22	
	都心居住人口	単位: 人	16,811.0	H16	17,500.0	H22	20,807.0	H22	
	東西方向通行者数	単位: 人/日	平日/休日 38,033/40,538	H16	平日/休日 40,000/42,500	H22	平日/休日 50,014/70,230	H22	
	放置自転車等台数	単位: 台	4,800	H17	2,200	H22	1,903	H22	
	まちづくり組織の活動回数	単位: 回	0	H16	—	H22	—	18	H22

凡例		
都市再生整備計画区域界	—	
基幹事業	道路	—
	公園	■
	地域生活基盤施設(自転車等駐車場)	■
	高次都市施設	■
	土地区画整理事業	■
提案事業	地域創造支援事業(公園再整備)	■
	地域創造支援事業(土地区画整理推進)	■
	地域創造支援事業(市街地再開発推進)	■
	まちづくり活動推進事業	■
関連事業		
都市高速鉄道地下鉄東西線整備事業	■	
土地区画整理事業	■	
市街地再開発事業	■	
街路事業	■	
交通安全施設事業(仙台都心地区)	■	
項津安全施設事業(仙台駅周辺地区)	■	
民間都市開発事業(都市再生特別地区)	■	
道路植栽改植事業	■	

仙台駅北部東西自由通路

五橋公園

<b>まちの課題の変化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地再開発や土地区画整理、民間開発等により、本市の玄関口にふさわしい都心環境の整備が促進された。</li> <li>・仙台駅周辺の交通ターミナル機能や交通結節機能拡充・強化に向けては、地下鉄東西線事業により今後の機能拡充・強化が期待される。また、仙台駅周辺の交通環境の改善・強化が今後の課題となっている。</li> <li>・仙台駅北部東西自由通路の整備により、仙台駅をまたぐ東西の連絡利便性・回遊性が向上したが、周辺の発展に伴いさらなる連絡機能の強化が求められている。</li> <li>・市街地再開発や土地区画整理、民間開発等により、都心居住が促進された。また、魅力ある都市空間の創出を図るため公園整備を行なった。近年は公園の行為許可件数は減少しているが、利用人数は増加傾向にある。</li> </ul>
<b>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心にふさわしい都市基盤整備の推進のため、土地区画整理事業の継続や地下鉄東西線事業の推進を行う。</li> <li>・仙台駅周辺の交通環境の改善・強化を推進するため、仙台駅西口広場の再編やバス乗降場の集約を行い、利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>・土地区画整理事業の完成に合わせた、仙台駅東西の連絡利便性・回遊性の向上のため、幹線道路や仙台駅東西自由通路の整備を行う。</li> <li>・地域交流の活性化・にぎわい創出のため、商店街の活性化や地元まちづくり活動に対する支援を行うとともに、住民等の意見を取り入れたまちづくりを推進する。</li> <li>・魅力ある都心空間を創出し、都心居住の促進を図るため、都市基盤整備の推進や生活に必要な機能の誘導・集積を行う。</li> </ul>